

開業医が知っておきたい

審美歯科 実践ガイド

【編集委員】 西山 英史 (東京都・西山デンタルオフィス)
吉田 茂治 (埼玉県・パークサイドデンタルオフィス)



「美しさ」と「機能」を両立する、審美歯科の新しい教科書。

審美歯科の目的は、患者一人ひとりの“らしさ”を引き出し、自然に笑える口元をつくることです。

そのためには、診断力・設計力・技術力に加え、共感力や倫理観が欠かせません。

本書は、そうした現代の審美歯科に求められる本質を捉え、臨床にすぐ活かせる知識と技術を体系的にまとめました。

執筆陣には、卓越した知見と臨床実績をもつ日本臨床歯科学会東京支部（東京SJCD）の先生を中心に迎えています。

基礎概念から具体的な手技、材料選定、デジタル技術の応用までを網羅し、症例に応じた最適な治療提案ができるよう構成された一冊です。

A4判変型／148頁／オールカラー 本体5,600円+税

詳しい情報は
こちら



CONTENTS

- 審美歯科の基礎概念
- 審美歯科における咬合の考慮
- 日常臨床におけるシェードテイキングの重要性
- 審美歯科における歯冠修復材料の選択基準
- ホワイトニングが変える患者との関係性
臨床経験から学んだ、信頼を生むカウンセリングと実践の工夫
- オールセラミッククラウン
アナログワークフローとデジタルワークフロー
- 日常臨床におけるラミネートベニアの応用
- 原理原則を考慮したダイレクトボンディング
- トップダウントリートメントに基づいた
前歯部インプラント治療
- 患者満足度の高いアライナー矯正の実践ポイント
- 結合組織移植を用いた歯槽堤増大術
- 臼歯部インプラントにおける軟組織マネジメント
- CBCTとIOSの活用によるデジタルワークフロー
- 高齢者に対する審美修復治療
- 患者コミュニケーションによる治療目標の共有
- 審美修復治療の最新トレンド